

世界の人たちは、どんな暮らしをしているの？

～向山小学校で 国際理解 幽前 講座を開催～

三島市国際交流協会(MIRA)は、向山小5年生に対する総合的学習の一環として、国際理解を深めるために講師派遣を依頼され、6月6日、ドイツのパウマン氏・カナダのモロイ氏・台湾の李氏・インドのシュクリシュナ氏・ペルーのケイラ氏を派遣しました。

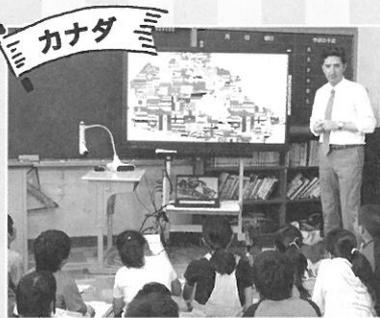
授業は1カ国あたり15分間、5教室を巡る形で行われました。短い時間でしたが児童たちはそれぞれの国の言葉や生活の様子に興味を示し、特に食べ物の話では熱心にメモをとる姿が見られました。

外国人講師は、「ALTが学校に派遣されるようになり、英語圏以外の外国人が学校に呼ばれることが無くなって数年経つが、当時と比べてみると今の子は、外国人に接する機会が増えたことなどにより理解が進んだようだ。5年生がこれほどの理解力を持つとは思っていなかった」と感想を述べました。



ドイツ

「朝は白パンにバターやジャムをつけて、夜は黒パン(ライ麦パン)にハムやチーズをはさんで食べる」と紹介。ライ麦パンの試食では、酸っぱい味に子どもたちが驚いていました。



カナダ

英語とフランス語を話し、移民が多い国。ロブスター、タラの舌、ヘラジカステーキ等、ごちそうがたくさん！東海岸から西海岸までは、西海岸から日本への移動時間と同じ。



台湾

100を越えてさらに高くという意味の「101ビル」がある。通勤時のバイクの多さにびっくり！小籠包やかき氷など、おいしいものが日本の1/3の価格で食べられる。



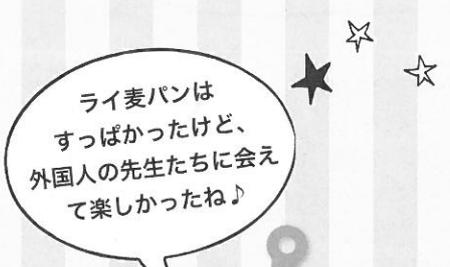
インド

たくさんある言語の中から、ベンガル語でのあいさつ、数字の書き方を学んだ。片手だけで、20まで数えられる。5mもある民族衣装サリーの着付け、ターバンの由来なども説明。



ペルー

富士山の頂上より高い標高に住んでいて、とても寒い。厚い服が必要だが、アルパカの毛皮は高価なので羊の皮が一般的。空気がきれいで、ばい菌がないから風邪もひかない。



ライ麦パンはすっぱかったけど、外国人の先生たちに会えて楽しかったね♪

